

「みやざき木の建築推進協議会」設立趣意書

趣旨

宮崎県は、先人の努力で長きにわたりスギの素材生産量日本一を誇り、国内トップレベルの木材供給基地となっています。この豊かな森林資源の積極的な循環利用、地産地消を図ることは、地球環境の保全に寄与するだけでなく、造林、伐採、加工、流通、建築という一連の地域産業の循環を生み出し、県内経済への波及効果が期待されるとともに、人々の生活環境において多大な恩恵をもたらすことになります。

県産材の建築分野での利用促進・拡大を図るにあたり、住宅分野はもちろんのこと、木造率が低い非住宅分野での木造化・木質化は有効であり、中でも新たな需要として見込まれる中大規模建築への取組は重要です。

このような中、宮崎県では令和元年度より非住宅分野の専門家を育成する「みやざき木造塾」を開催し、修了者を「みやざき木造マイスター」として登録し活動しています。また、令和3年度からは宮崎県木材利用技術センターに「民間建築物木造化・木質化検討会」を設置し、県内の建築物における木材利用を推進する取組を行っています。

このような背景を踏まえ、木造建築に関わる川上から川下までの関係者が連携し、あらゆる建築物の木造化・木質化に向けた普及啓発と技術向上を目指し、新たなプロジェクトの発掘にチャレンジすることで、快適な木造空間の形成、そして県産材の利用拡大に資することを目的に「みやざき木の建築推進協議会」を設立し、世代を越えて豊かな森林資源と社会環境を残すことを目指します。